“Logistics Innovation For Efficiency”

LIFE TIMES

三菱化学物流株式会社
http://www.mclc.co.jp/

平成２９年１月４日（水）発行　【隔月（年６回）発行】

発行部署　：ソリューション営業第２本部ソリューション営業部
住所　：東京都港区芝大門一丁目１番３０号
電話番号　：０３－５４０８－４６００
発行責任者　：古田　泰幸
お問合せ窓口：石山　義裕

第127号

［目　次］

1. 2017年　新年のご挨拶
2. 三菱化学グループ　小集団活動発表大会　「特別賞」受賞
3. 免許制度変更について
4. ベトナム駐在員事務所開設について
5. 現場紹介　~東日本エリア営業部　足立出張所（東京都足立区）の巻~
6. ダイバーシティ　現場交流会開催
7. エコプロダクツ2016　参加レポート

1. 2017年　新年のご挨拶

ソリューション営業第2本部　ソリューション営業部長　**古田　泰幸**

明けましておめでとうございます。旧年中は格別なるご厚情を賜り、誠にありがとうございました。本年も、変わらぬご愛顧の程、よろしくお願い申し上げます。

昨年は、リオ五輪での日本選手の大活躍、3年連続のノーベル賞受賞等のビッグニュースも霞んでしまうほど、国内外とも様々な出来事がありました。特に熊本・鳥取（海外でもイタリア・台湾等）地震、台風10号の被害では、2011年3月11日を彷彿させ、産業界でも不沈艦とも思われた名門企業が買収されたりライバル企業の傘下に入ったりと、何が起こるか分からず、将来への不安は募る一方でした。

日本経済は、依然内需の伸び悩みが続くも、外需持ち直しにより緩やかな回復基調にあると言われています。しかし、国内経済施策効果、英国のEU脱退や米国トランプ新大統領政権の不透明感等もあり、単に「昨年の延長線上」という様な予測はできません。

今年は、4月1日に三菱ケミカルホールディングスグループ内化学系3社の統合による「三菱ケミカル社」が発足します。当社も新生「三菱ケミカル物流」として、統合新社の物流機能強化に取り組むとともにソリューション力を更に向上させ、一般のお客様に対してもより一層貢献して参ります。しかし、物流業界では交通事故に対する社会の視線や、運転手の労務管理における法令順守はより厳格化し、深刻なトラック運転手不足と高齢化問題が表面化しております。近年、AI（人工知能）や自動運転車がトレンドとなってきています。その一方で、私たちは、より一層地道に「物流効率化」を使命とし、グローバル化（ベトナム展開）支援、共同物流への対応、顧客ニーズ対応（中重量貨物の幹線ネットワーク）、シーズ発掘（ケミカルタンク事業）支援等、お客様の物流サポートを第一に、失敗を恐れず果敢に取り組んで参ります。

私たちは、中期経営計画「MCLC APTSIS 20」の中で、「“KAITEKI物流”を創造することで化学品業界全体に貢献し、あらゆるステークホルダーから信頼される化学品物流会社日本一を目指す」と宣言しております。船の用語で、港に着けるため左舷側に舵を取ることを、「取（酉）舵一杯」と言います。
年は酉年、皆さまが目標や夢（の港）に見事着岸できますように「とぉおりかぁじ いっぱーい！」

2. 三菱化学グループ　小集団活動発表会　「特別賞」受賞

第125号でご紹介しましたが、第16回三菱化学グループ小集団活動発表会が、11月9日に三菱化学(株)鹿島事業所に於いて開催されました。当社からは、黒崎支社営業部陸運2課の「KAITEKI配車チーム」が出場し、見事「特別賞」を受賞しました。

本大会は、三菱化学グループ944チームより選考された12チームで開催され、「KAITEKI配車チーム」は、7月に開催された当社の小集団活動全社大会で選出された4つの優秀グループの中から、当社代表として出場しました。

大会では、「路線便最適配車への取組み」というテーマで発表し、物流業務の紹介から日々苦労している配車業務に対してJR専用枠の活用と積載率向上による成果を説明しました。

今回、「特別賞」を受賞したことにより、2月9日に開催される第5回三菱ケミカルホールディングスグループ小集団活動発表会に出場する事が決まりました。4月に発足する三菱ケミカル社へ当社の活動内容をアピールし、グループ最高の「KAITEKI賞」受賞を目指しています。

3. 免許制度変更について

本年3月12日に免許制度が変更されることとなり、新たに「準中型免許」が新設されます。

具体的には、車両総重量が3.5トン以上7.5トン未満の小型トラック（主に近距離の配送などで使用され、宅配便やコンビニ配送などのトラックとしても多く使用されている、いわゆる2トントラック）について、現行制度は20歳以上（かつ普通免許保有通算2年以上）でないと運転する事が出来ませんでしたが、普通免許の保有を前提とせず、18歳以上であれば「準中型免許」を取得し運転する事が出来るようになります。

当該免許は若い人材がトラックドライバーの仕事に従事しやすくなるよう、新たに設けられた側面もあります。トラック運送業界等では、慢性的な人材不足やドライバーの高齢化が深刻な問題になっています。今回の変更で若い人材の就業間口が大きく広がることにより、高校新卒者等のドライバー積極採用に期待がかかっています。

4. ベトナム駐在員事務所開設について

当社は、昨年10月12日ベトナム（ホーチミン市）に駐在員事務所を開設いたしました。

今後発展が見込まれるミャンマー・ラオス・カンボジアへの展開も睨みながら、ベトナムにおける基盤整備強化に向けたマーケティングを行い、早期に現地法人化を目指します。

また、当社はこれまでアジア地域（シンガポール、インドネシア、タイ、中国）に現地法人を設立し、アジア地域のネットワークを活かした物流提案体制を構築してまいりましたが、今回の駐在員事務所の設置により、さらなる体制強化を行います。

更に、当社の包装資材事業では、包装資材の多くをベトナムから輸入しており、仕入先管理の強化や廉価購買の拡大、アジア地域の営業窓口として拡販機能を持たせる体制を整備するため、現地に根差したマーケティングを行います。

荷主様への様々な物流提案ができる体制を整備しておりますので、今後も当社をよろしくお願い申し上げます。

【海外現地法人】

【ベトナム風景】

5. 現場紹介　～東日本エリア営業部　足立出張所（東京都足立区）の巻～

当社東日本エリア営業部足立出張所は、日本化薬社東京工場の管理棟内に2名が駐在し、少数精鋭で日々物流業務の安全管理や効率化検討等を行っています。

事務所のある足立区は、東京都の特別区のひとつで北東部に位置し、四方を川に囲まれた場所であり、工場は隅田川を挟み足立区と北区にあるため、移動は渡船を利用しています。

足立区には、826年（天長3年）厄災消除の祈願寺として創建された「西新井大師」があり、江戸時代になると女性の厄除け祈願所として名を馳せました。

日本化薬社マスコット
かやくーま

日本化薬社所有
渡船

「千住宿」で日光街道と水戸街道が分岐していた事から交通の要所として発展しました。現在では、「足立ナンバー」の車が多く走っていますが、路面電車（都電荒川線）が現役で今も活躍中です。老舗店や銭湯が多く、生活に密着・浸透していることも特徴のひとつです。

昭和の懐かしい雰囲気が残る足立区へ是非お越し下さい！

明治44年開通の王子電気軌道が
前身の都電荒川線

元総理や議員さんが通う
鹿浜橋の焼肉屋

宮内庁御用達の老舗
島田屋製菓

足立区出身の漫談家
風呂わく三さん

6. ダイバーシティ　現場交流会開催

当社人事部ダイバーシティ推進グループが企画する社内現場交流会第2弾が、2016年11月22日に鹿島支社で開催されました。今回は本社、坂出支社より計4名の女性社員が参加しました。本交流会は現場を見たことが無い社員を優先に「現場を見て学ぶ、担当者間のコミュニケーション促進」を目的として開催され、参加者からは普段は接する機会が少ない現場の最前線を知り、現場での課題や取組み、改良対策の説明を聞くことで自身の仕事との繋がり、現場作業の大変さを理解することができたとの声がありました。

当日は早朝に地震が発生したものの、内航船が入港するところを見学できました。参加者は、現場の業務は慌ただしく、地震や気象等の様々な要因によって左右される大変な業務だ、と改めて実感できたようです。また、見学会後に実施した意見交換会では、「女性活躍について」や同じ仕事を持つ女性として「働き方・悩み・やりがい」等についてテーマを挙げ、意見交換を通じ横との繋がりや互いの理解を深める事ができました。参加者からは「書類だけでの作業だと、実際にどの様な業務が行われているか分かっていなかった。現場に出て話が聞けることは今後の仕事にも役立つ」との意見や「勤務地や職種が異なる方と顔を合わせ、様々な意見が聞けて良かった」等の意見が寄せられました。現場見学では、業務に従事している社員に積極的に質問する場面も多く、活発なコミュニケーションが行われ、大変貴重な機会となりました。

7. エコプロダクツ2016　参加レポート

2016年12月8日～10日までの3日間、東京国際展示場（ビックサイト）で開催された日本最大級の環境展示会「エコプロ2016　環境とエネルギーの未来展」に参加してきました。

今回で18回目をむかえるエコプロ展は、「地球温暖化対策と環境配慮」と「クリーンエネルギーとスマート社会」を2大テーマとし、持続可能な社会の実現に向けて、これまでの常識を転換する新しい環境技術・サービス、企業間連携や地域連携など、環境問題の解決につながる新しいビジネスモデルが紹介されていました。

例えば、木を利用した樹脂の成型（木と石油の混合）、バイオマスプラスチック（再生可能な有機性資源で化石資源を除いたもの）の活用、二酸化炭素を排出しない水素の活用など、科学技術の発展による環境に優しい取組みがありました。

また、子ども向け学習資料を提供したり、製品開発について解説するなど、積極的に小中学生の学習に協力し、次世代の子供達へ明るい未来を残すため、日本の優れた環境・エネルギー技術・ノウハウが地球環境規模での環境負荷低減に貢献することを期待します。

神奈川ロジスティクスセンター開設

お問い合わせ　電話：ソリューション営業部　沖　03-5408-4600
HP：https://www.mclc.co.jp/contact/index.php
その他物流業務全般に関するお問い合わせ　まで

編集後記

ソリューション営業部　浅野　宏行

新年あけましておめでとうございます。皆様ご壮健でおめでたい新年をお迎えのことと存じます。さて、新年には当たり前のように食べているお雑煮ですが、その始まりは平安時代だと言われています。私も毎年三が日には実家（岡山）で欠かさずお雑煮を食べています。もちろんお餅は関西風（丸餅を焼かずにお雑煮に入れて煮込む）です。＜関東風：角餅を焼いてからお雑煮に入れる＞澄まし汁に大根・ニンジン・里芋・地元産の日生牡蠣を入れて煮込み、最後にブリ煮付けとさっと茹でたホウレン草をのせたお雑煮は激ウマです。

今年も餅パワーで粘り強く目標に向かって果敢にチャレンジし、計画が絵に描いた餅に終わることのないよう邁進したいと思っています。